



この中間株主通信は、当社製品を活用して作りました

連結決算ハイライト

売上収益は、円安進行による為替のプラス影響を受け、プリンティングソリューションズ事業セグメントを中心に増加し、前年同期を上回る6,385億円(前年同期比0.9%増)となりました。

事業利益は、マイクロデバイス事業における大幅な減収による影響が大きく、円安による為替のプラス影響はありましたが、

前年同期を下回る244億円(同50.7%減)となりました。また、営業利益は279億円(同52.8%減)、税引前利益は383億円(同46.5%減)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は274億円(同45.5%減)となりました。



事業セグメント別の概況

* 売上収益構成比率は、各報告セグメントの売上収益を、各報告セグメント売上収益合計(「全社費用・その他」を含まない)で除して算出しています。

プリンティングソリューションズ事業セグメント

売上収益 **4,373**億円
(前年同期比 5.8%増)

セグメント利益 **373**億円
(前年同期比 6.0%減)

売上収益
構成比
68.3%

ビジュアルコミュニケーション事業セグメント

売上収益 **1,102**億円
(前年同期比 1.0%増)

セグメント利益 **146**億円
(前年同期比 23.1%減)

売上収益
構成比
17.2%

マニファクチャリング関連・ウェアラブル事業セグメント

売上収益 **926**億円
(前年同期比 18.2%減)

セグメント利益 **17**億円
(前年同期比 90.0%減)

売上収益
構成比
14.5%

「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

CEOメッセージ

“会社と社員の「パーパス」の重なりが
強いエプソンをつくる”
そう信じてパーパスの社内浸透活動を続けています

代表取締役社長
CEO

小川 恭範



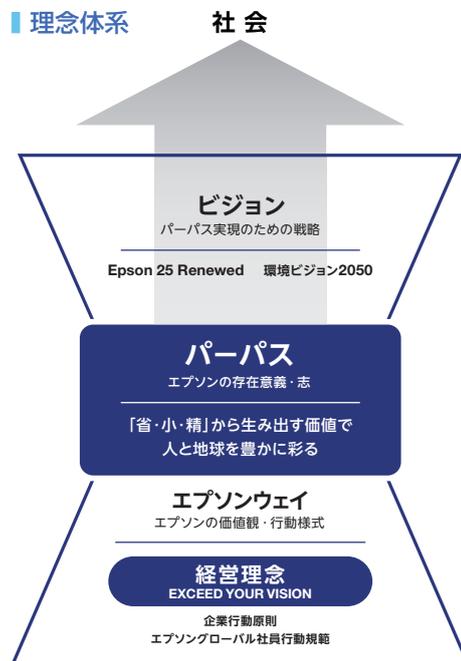
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

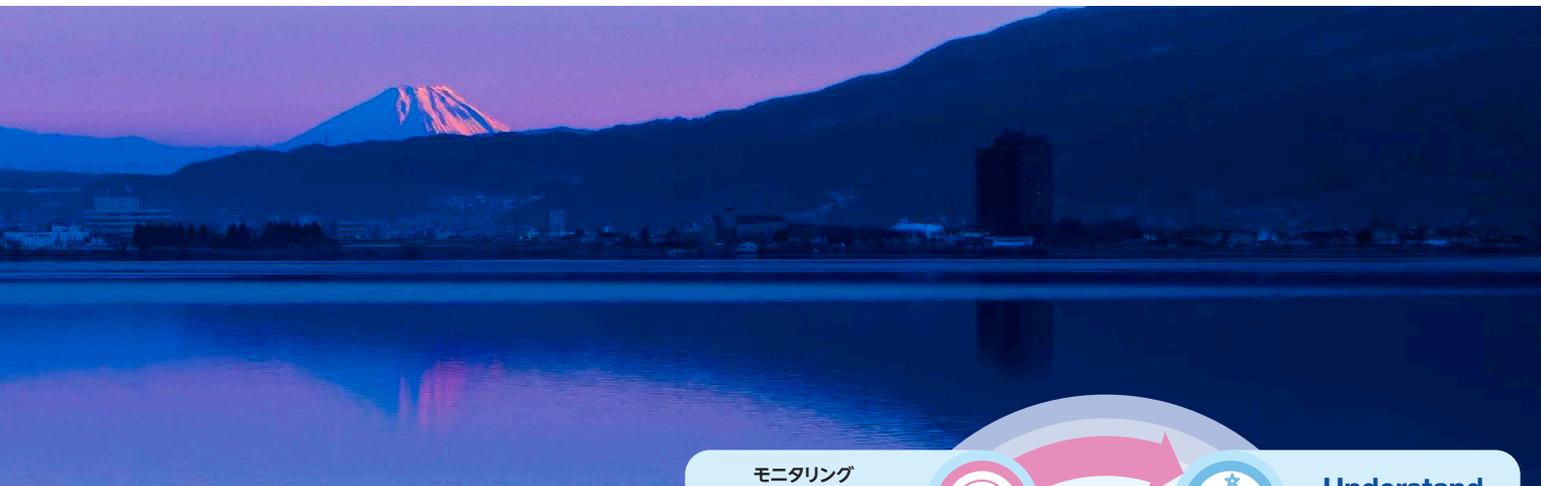
エプソンは2022年9月、パーパス「『省・小・精』から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る」を制定しました。これは、私たちの存在意義であり、志(こころざし)です。私たちならではの考え方や特徴、強みを大切に、それを生かし、「目指す姿」の実現に向けて前進していく、その考え方を示したものです。

そして現在、社員に向けたパーパス浸透の取り組みを進めています。取り組みをきっかけに、社員一人ひとりに「何のために働くのか」という働く意義、つまり自分のパーパスを考えてもらい、エプソンで働くことにやりがいをもってもらうことが狙いです。取り組みの波及効果として、パーパスをきっかけに職場のコミュニケーションが活性化され、自身や職場の存在価値を改めて認識する機会となり、社内エンゲージメントの向上につながるうれしい効果が生まれています。

パーパスの制定は、短期で業績に良い影響を与えるものではありません。私は「会社が何のために存在し、何をやろうとしているのか、何をやらないと決めているのか」を全員の共通認識として持つために重要なものと考えており、皆が自分の事として捉え、それぞれの目的、やり方で取り組むことで将来の成果につながると信じています。

私は社長就任以来、社内に向けて「社会への貢献」と「社員の幸せ」の重要性を伝え続けています。この二つは連動していることが重要で、どちらかを優先したり、選択したりするものではないと捉えています。社員が幸せを感じられるのは、自分の意見が活かされ、自身の存在意義、つまり自分のパーパスを感じ行動できた時です。それが社員や会社のパワーとなり、社会への貢献につながってくるのだと思っています。私は、社員のパーパスが生きる、「社会への貢献」と「社員の幸せ」が好循環する会社になりたいと思っています。





パーパス社内浸透の取り組み

エプソングループでは、パーパスの社内浸透活動を継続的に進めています。パーパス浸透の考え方は、パーパスへの理解(Understand)、パーパスへの共感(Believe)、パーパスに基づいた自発的行動(Live)のステップで活動を実施し、定期的なエンゲージメントサーベイなどから浸透状況をモニタリングすることで、活動を進化させていきます。



■ 浸透活動ロードマップ

2022・2023年の主な活動

eラーニング



経営からのメッセージ発信



社員研修でのワークショップ



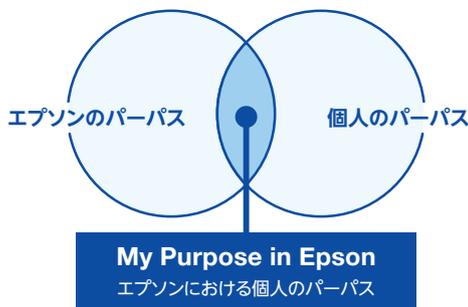
パーパス月間 グループ全職場での My Purpose in Epson ワークショップ



グループ各拠点での社長の小川によるパーパス講話および従業員との対話会／社内報、イントラでの継続的な情報発信を実施

エプソンにおける個人のパーパス

パーパス月間や社員研修では、「エプソンのパーパス」と「個人のパーパス」が重なる部分である、エプソンにおける個人のパーパス「My Purpose in Epson」を考えるワークショップを開催しており、エプソンで働く目的や意義を改めて考える機会となっています。



新入社員研修でのワークショップ



経営層の「My Purpose in Epson」 エプソン公式noteアカウントで発信中！

経営層が自ら語るメッセージビデオをご覧いただけます。エプソン公式noteでは、社内報コンテンツの中から厳選した記事を中心に発信していますので、ぜひご覧ください。

<https://note.com/epson/>



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131(代表)
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号JR新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700(代表)
資本金	532億4百万円
従業員数	連結: 76,299人 単体: 13,262人
グループ会社	82社 当社含む国内 20社 海外 62社

役員 (2023年9月30日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役会長	碓井 稔	常務執行役員	渡辺 潤一
代表取締役社長	小川 恭範		深石 明宏 下斗米 信行 五十嵐 人志 Keith Kratzberg
代表取締役専務執行役員	瀬木 達明		大塚 勇 阿部 栄一 市川 和弘
	松永 真理		内藤 恵二郎 吉田 佳史 Andrea Zoeckler
社外取締役	嶋本 正	執行役員	永房 義朗 細野 聡 鈴木 文徳 武井 昭文 吉田 潤吉 Samba Moorthy
	山内 雅喜		山田 陽一 高相 知郎 吉野 泰徳 宮坂 敏明 林 昌志 水上 昌治 小林 利彦 Siew Jin Kiat
取締役常勤監査等委員	川名 政幸	専門役員	村田 すなお
	白井 芳夫	監査等特命役員	溝口 芳弘
社外取締役監査等委員	村越 進		
	大塚 美智子		

株主メモ

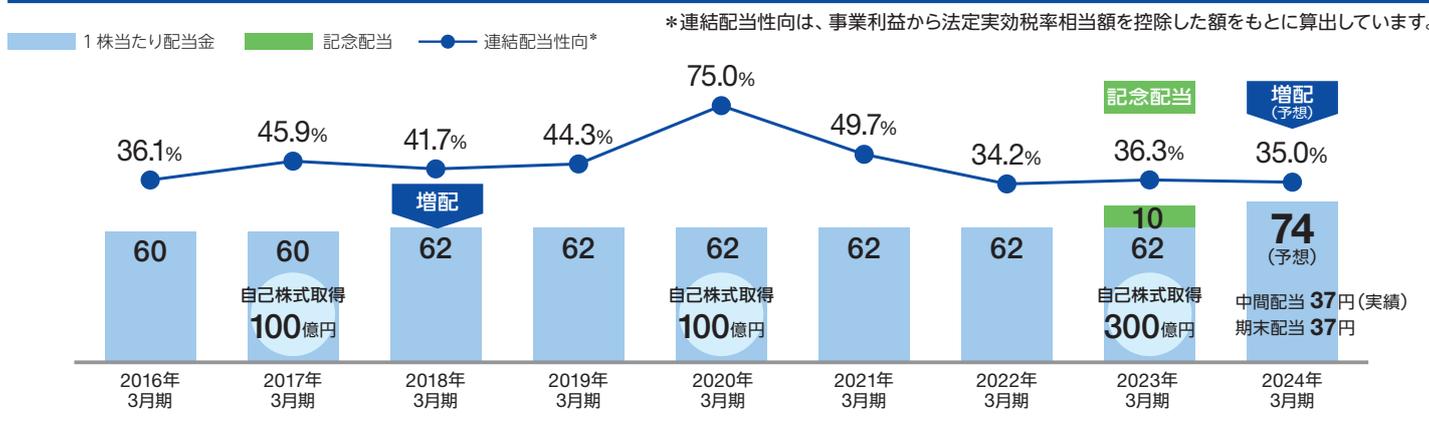
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払明細発行の お問い合わせ先・郵便物送付先 ¹	(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711(通話料無料) (郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に関する各種 お手続きのお問い合わせ先・郵便物送付先 ²	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/7/6724/index.html

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,214,916,736株
発行済株式総数	385,022,278株
株主の総数	35,238人

*1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。
*2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

株主還元の推移



詳細な内容は
こちらを
ご覧ください



投資家の皆様へ
<https://corporate.epson/ja/investors/>



サステナビリティ
<https://corporate.epson/ja/sustainability/>



セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131(代表) <https://corporate.epson>



用紙の再生および印刷は、障がい者雇用の促進を図る
特別子会社エプソンミズベ株式会社で行っています